

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています

1 デーリイマン8月号 デーリイマン社

牛群検定Webシステム(北海道) 北海道酪農検定検査協会

北海道における牛群検定情報活用の取り組みを紹介しています。都府県では繁殖台帳Webシステムをご利用ください。

2 ホルスタイン8月号 ホルスタインマガジン社

肢蹄疾患を防ぐために飼養管理上注意すべき点

北海道根室振興局根室農業改良普及センター主査 田口容士 氏



蹄冠スコアと飛節スコアを活用した飼養管理の改善を現場で蓄積されたデータからわかりやすく、解説されています。特に、飛節や蹄冠が2を超えた牛群において、乳牛の採食行動を20分間隔で観察した結果や、TMR飼料が乳牛の立ち位置から何時間後に何センチ離れるか、またこのことがルーメンアシドーシスにどのように関係するか等、長年にわたる農家指導の極めて貴重な結果が示されています。これから、蹄冠と飛節スコアに取り組み農家指導される方は必読です。酪農家向けの肢蹄に関する詳細な指導冊子がHPに掲載されています。

http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/kannkoubutsu/121203sitei_siryou.pdf

根室肢蹄調査 検索

3 全酪新報8月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスン その14 肢蹄

新しく牛群検定成績表に表示されるようになった蹄冠スコアと飛節スコアについて、その見方をワンポイントで解説

4 酪農ジャーナル8月号 酪農学園大学エクステンションセンター

牛群検定だより(第5回) 未経産牛のゲノミック評価の活用①

未経産牛ゲノミック評価の国内での成り立ちや仕組み、注意点などを解説

5 LIAJニュースN o 147 平成26年7月号 家畜改良事業団

新しい牛群検定成績表について その32 肢蹄状況スコア

蹄冠スコアと飛節スコアについて、その判定などの新しい検定の方法、データの入力方法や活用法を解説。また、生乳生産性との関係など、基本分析の結果もあわせて解説しています。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

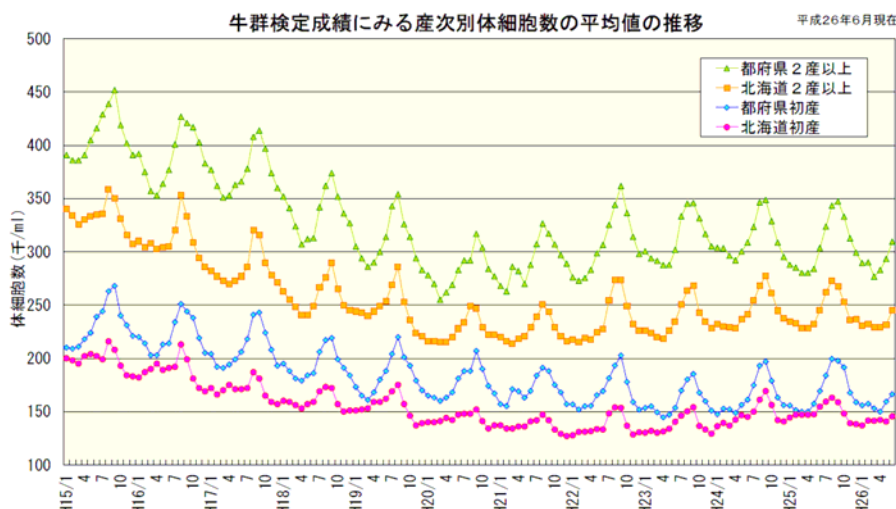
牛群検定情報 検索

乳用種雄牛評価成績2014-8月が公表されました!

独立行政法人家畜改良センターより2014-8月乳用種雄牛評価成績が公表されました。今回の評価を受けて、家畜改良事業団より5頭、家畜改良センターより2頭、ジェネティクス北海道より4頭、十勝人工授精所より2頭の計13頭の種雄牛が新たに選抜されました。牛群検定農家であれば誰でも利用出来る繁殖台帳Webシステムの交配種雄牛情報を使えば、近交を避けたあなたの牛群にあった種雄牛を選定できます。日本ホルスタイン登録協会において新規種雄牛と血統登録牛の近親交配の計算が終了する9月中旬ごろにセットアップする予定です。どうぞ、ご利用ください。

ご存知ですか? 体細胞数がもっとも高くなる時期は9月です。

体細胞数は、抗病性の低下する夏期が最も高いと言われています。確かに、右図のように毎年周期的な変動を示していますが、実際に体細胞数が一番高くなるのは9月になります。9月はまだまだ残暑が続く地域によっては秋雨の湿気も加わることなどが原因と考えられます。送風扇などの暑熱対策は、しっかりと涼しくなるまで継続しましょう。



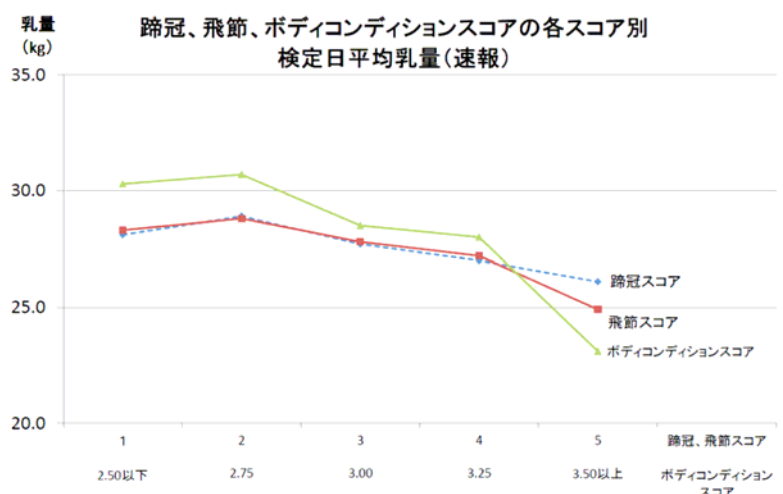
蹄冠スコアと飛節スコアを活用しよう！

蹄冠スコアと飛節スコアは生産性とも関連性が強いことが知られています。図は、本年4月から6月末日までの3カ月間に先行してエクセルでいただいた報告を集計したもので、まだ僅かな期間での一部地域の報告のみですので仮の速報としてご覧下さい。精緻な分析等は今後おこなっていきたいと考えています。いずれの場合も蹄冠と飛節およびボディコンディションの各スコアを良好に保つことが、高乳量高品質および長命連産に強く影響することがわかります。

(データ件数：蹄冠スコア 52,826 件、飛節スコア 52,802 件、ボディコンディションスコア 42,520 件)

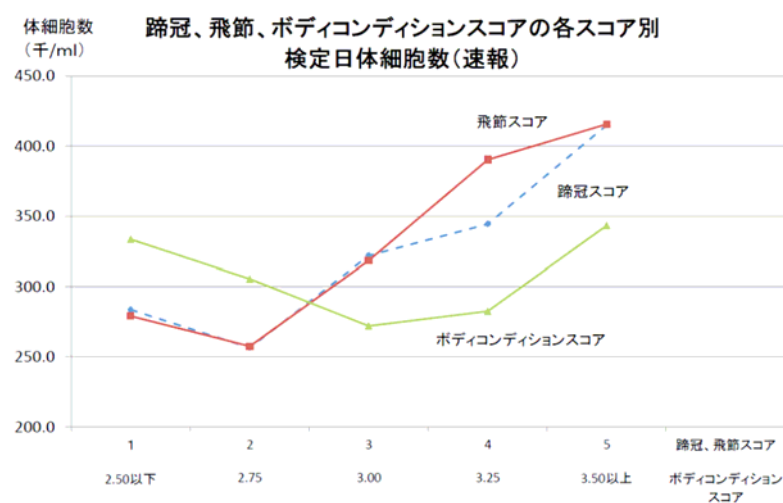
(1) 各スコア別平均乳量

蹄冠と飛節は、スコア1または2において、高い乳量が表示されています。スコア3以降段階的に乳量が減少していることが読み取れます。治療が必要なレベルであるスコア5の乳量は明らかに低く、生産性に大きく影響しています。また、ボディコンディションスコアでは過肥の傾向が進むにつれて乳量が低下しています。



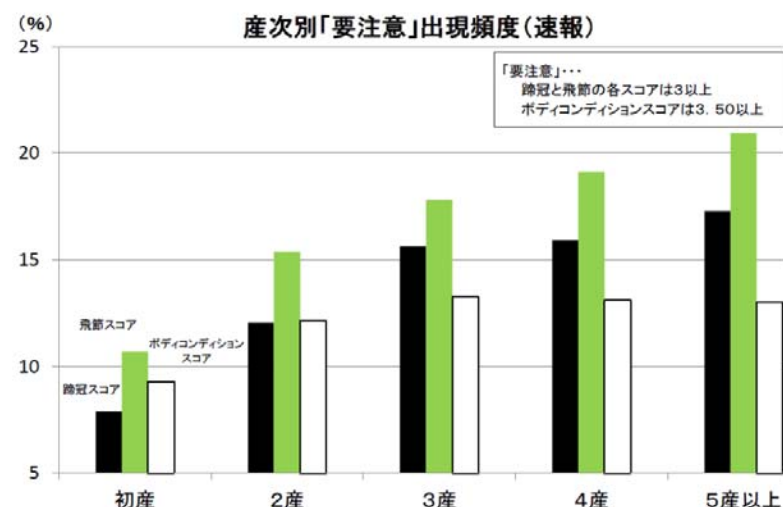
(2) 各スコア別平均体細胞数

蹄冠と飛節は、スコア1または2において、体細胞数が低いことが示されています。以降、段階的に体細胞数が上昇していることが読み取れます。治療が必要なレベルであるスコア5では明らかに体細胞数が高く乳質に大きく影響しています。また、ボディコンディションスコアではスコア3.00が最も良好で過肥と消瘦ではどちらも体細胞数が高くなっています。



(3) 産次別の「要注意」出現頻度

「要注意」として蹄冠と飛節はスコア3以上、ボディコンディションスコアは過肥に注目して3.50以上に定義づけした場合に各産次での出現頻度をグラフ化しました。いずれのスコアともに初産での「要注意」出現頻度は低いですが、産次が進むにつれて頻度が増す傾向が見られます。前述のように各スコアとも生産性との関連性が高いことから、高能力を維持しながら長命連産を達成するには、蹄冠や飛節スコアおよびボディコンディションスコアを良好に保つことが大きなポイントとなることを示しています。このことは、管理面からみれば、精緻な飼料給与と優れたカウコンフォートが重要であると言い換えることもできます。



★8月から検定員のハンディーターミナルで蹄冠と飛節の各スコアを入力できるようになりました！

新規検定農家募集中！蹄冠や飛節スコアを取り入れた新しい牛群検定を「お試し」ください！

家畜改良事業団では「乳用牛改良対策事業」により、牛群検定を半年間無料体験できるお試し検定を本年度も実施します。蹄冠や飛節、ボディコンディションの各スコアを取り入れた新しい牛群検定を是非ご利用ください。また、未経産ゲノム評価についても牛群検定を実施していなければ利用出来ません。これを機会に、検定未加入の農家に一声かけてみてください。

新規加入農家には、牛群検定成績の利活用（入門編）を解説したビデオをDVDとテキストで配布しています。「利活用がよくわからない...」という方にも安心です。なお、ビデオはインターネットでも無料視聴できます。

<http://seo.lin.gr.jp/elearning/user.html>

畜産経営活性化

検索